

都市再生整備計画 事後評価シート

ひたちなか市^{ちゅうおう}中央地区

平成31年2月

茨城県ひたちなか市

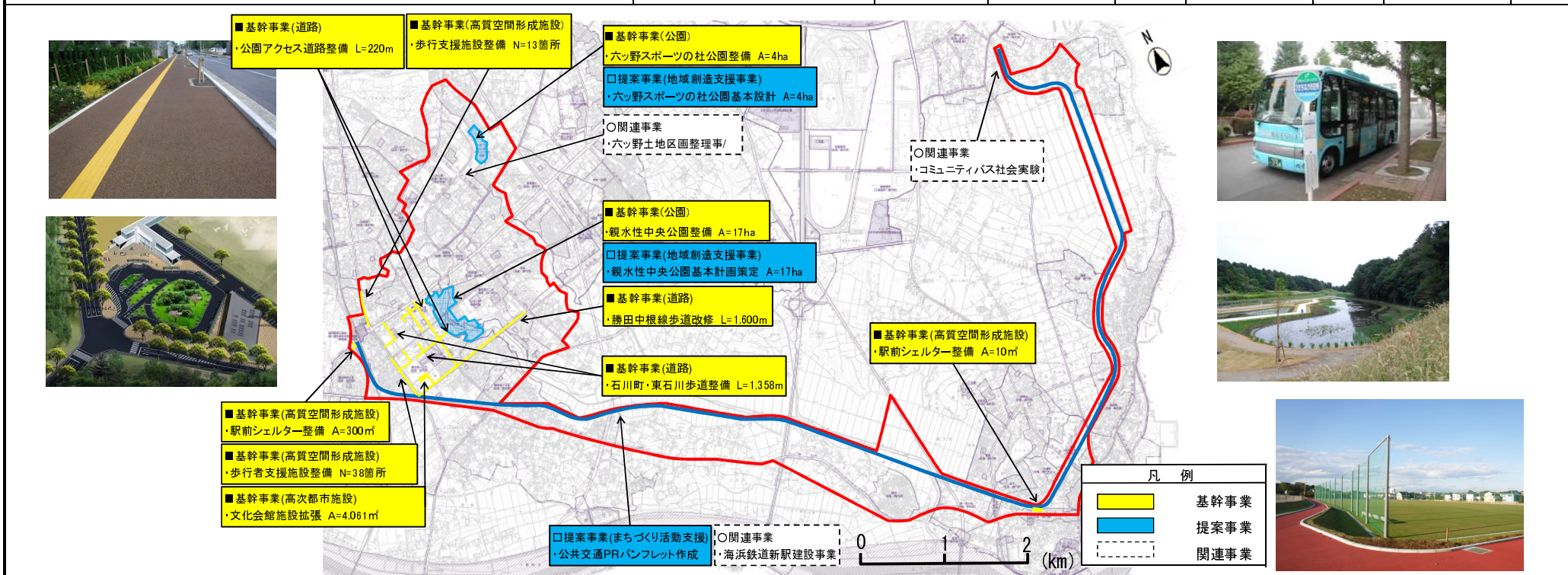
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	ひたちなか市	地区名	ひたちなか市中央地区			面積	890ha					
交付期間	平成25年度～29年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	1,525百万円	国費率	0.4							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	道路(石川町・東石川歩道、勝田駅前交差点、勝田中根線歩道、公園アクセス道路、新駅アクセス道路)、公園(親水性中央公園)、高質空間形成施設(歩行支援施設)											
		提案事業	地域創造支援事業(親水性中央公園基本計画策定)、まちづくり活動推進事業(公共交通PRパンフレット作成)											
	効果促進事業													
	当初計画から削除した事業	事業名												
		基幹事業	道路(勝田駅前交差点、新駅アクセス道路)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	-		-			-						
		基幹事業	公園(六ッ野スポーツの杜公園)、地域生活基盤施設(文化会館駐車場)、高質空間形成施設(駅前シェルター)		・六ッ野スポーツの杜公園整備:良好な居住環境を創出し、都市公園の機能強化を図るため ・文化会館駐車場整備:施設の慢性的な駐車場不足問題を解消し都市機能の強化を図るため ・駅前シェルター整備:駅利用者の利便性が向上し公共交通の利用促進を図るため			影響なし						
	提案事業	地域創造支援事業(六ッ野スポーツの杜公園基本設計)		・六ッ野スポーツの杜公園基本設計:実施に向けた公園の基本設計を行うため			影響なし							
	交付期間の変更	当初	平成25年度～29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
変更	なし													
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	バリアフリー環境への満足度	%	13%	H24	15%	H29	モニタリング	評価値	53%	○	ありなし	歩道の段差解消や連続性の向上などにより満足度が上昇し、目標達成につながった。	
	指標2	地区内居住人口	人	7,560人	H24	8,000人	H29		7,708人	○	ありなし	公園整備による地区の魅力の高まりや地区計画に基づいた集客及び戸別住宅の誘導(民間の住宅供給)などにより人口が増加した。	H31年4月頃	
	指標3	まちなみに対する満足度	%	26%	H24	30%	H29		51%	○	ありなし	公園整備と歩道再整備、地区計画による建築制限により、目標達成につながった。		
	指標4	公共交通の利用者数	人	845,000人	H24	909,000人	H29		1,183,766人	○	ありなし	コミバスのルート見直しや駅シェルの整備により利便性が高まり、利用者数の増加につながった。		
	指標5										ありなし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	公園整備に伴う説明会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 公園の利用促進に努める。				
	持続的なまちづくり体制の構築	公園管理団体への登録		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 市と公園管理団体が協力して、良好な維持管理に努める。				

様式2-2 地区の概要

ひたちなか市中央地区(茨城県ひたちなか市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標 快適・安心・魅力があり持続可能な生活圏づくり 目標1 中心市街地のバリアフリー化を進め、市街地の更なる活性化を図る。 目標2 上質な空間を創出し、ゆとりとつろぎのある魅力的な中心市街地づくりを図る。 目標3 市街地と郊外とを結んだ誰もが利用できる移動手段を確保し、持続可能な中心市街地づくりを図る。	バリアフリー環境への満足度	単位: %	13% H24	15% H29	53% H30
	地区内居住人口	単位: 人	7,560人 H24	8,000人 H29	7,708人 H30
	まちなみに対する満足度	単位: %	26% H24	30% H29	51% H30
	公共交通の利用者数	単位: 人	845,000人 H24	909,000人 H29	1,183,766人 H30



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの社会実験の実施により、中心市街地への移動が円滑にできるようになった。 ・新たな公園整備により、交流拠点がつくられ、市民の交流や賑わいの創出が図られた。 ・市民のニーズに合ったコミュニティバスの運行ルートの設定により、中心市街地へのアクセスが向上した。また、新たな需要が生まれた。 ・新たな歩道整備や歩道の段差解消により、誰もが安全に通行できるようになった。また、回遊性が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道のネットワーク化に対応するため、バリアフリー歩道の連続化に努める。 ・公共交通体系を確立させるため、コミュニティバスを市民の移動手段として根付かせていく。 ・商店街の賑わいを持続させ、また、人口の定着化を図るため、行政による側面支援を行う。